

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

NPO 法人ナルク岐阜福祉調査センター

②施設・事業所情報

名称：いわのだこどもの森	種別：保育所												
園長：脇淵 爾良	定員（利用人数）：110人（116人）												
所在地：岐阜市三田洞東1丁目18-8													
TEL：058-237-3822	FAX: 058-237-3822												
メールアドレス iwanida-office@dokakusha.net													
ホームページ： https://www.iwanoda.info													
【施設・事業所の概要】													
開設年月日 令和4年4月1日													
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 堂角舎													
職員数	総職員数 33人												
	正規職員： 17人 パート職員 16人												
専門職員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">園長 1人</td> <td style="width: 50%;">保育士 12人</td> </tr> <tr> <td>主任 1人</td> <td>看護師 1人</td> </tr> <tr> <td>副主任 1人</td> <td>調理員 3人</td> </tr> <tr> <td>保育士 12人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理院 1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務員 1人</td> <td></td> </tr> </table>	園長 1人	保育士 12人	主任 1人	看護師 1人	副主任 1人	調理員 3人	保育士 12人		調理院 1人		事務員 1人	
園長 1人	保育士 12人												
主任 1人	看護師 1人												
副主任 1人	調理員 3人												
保育士 12人													
調理院 1人													
事務員 1人													
施設・設備の概要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 保育室 ⑤ 遊戯室 1 多目的室 1 一時保育室 1 ほふく室 1 沐浴室 1 事務室 1 調理室 1 更衣室 1 食品庫 1 幼児WC 4 職員WC 1 </td> <td style="width: 50%;"> （設備等） 屋外 大型複合遊具 築山等 クライミングキリン 屋内 運動遊具（跳び箱等） </td> </tr> </table>	保育室 ⑤ 遊戯室 1 多目的室 1 一時保育室 1 ほふく室 1 沐浴室 1 事務室 1 調理室 1 更衣室 1 食品庫 1 幼児WC 4 職員WC 1	（設備等） 屋外 大型複合遊具 築山等 クライミングキリン 屋内 運動遊具（跳び箱等）										
保育室 ⑤ 遊戯室 1 多目的室 1 一時保育室 1 ほふく室 1 沐浴室 1 事務室 1 調理室 1 更衣室 1 食品庫 1 幼児WC 4 職員WC 1	（設備等） 屋外 大型複合遊具 築山等 クライミングキリン 屋内 運動遊具（跳び箱等）												

③理念・基本方針（※転載）

●理念

ともに生き ともに育ちあう道を歩もう

●基本方針

教育・保育方針 遊んで学ぶ 大切なこと全部

教育・保育目標と視点 子どもの主体性を育てる保育

- ① いきいきとして遊びの発見
- ② ゆたかな感動の体験
- ③ たしかな情操の発揮

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

●立地・環境

いわのだこどもの森は、岐阜市の北部に位置する。周囲はなだらかな山に囲まれた自然豊かな住宅地で、小学校・中学校・高校・大学が点在する文教地区である。

令和4年4月、公立保育所「岩野田保育所」の民間移管を受け、社会福祉法人堂角舎が「岩野田保育園」の運営を開始した。令和5年11月には新園舎が完成。令和6年4月、園名を「いわのだこどもの森」へ変更した。令和7年4月には「認定こども園」として再出発することになる。

園舎は鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建てで、一階は0歳児室、1歳児室、2歳児室、一時保育室、調理室、事務室、各保育室南面には広いウッドデッキがある。二階は3歳・4歳・5歳、多目的室及び遊戯室（ホール）があり、1階同様各保育室南面に広いバルコニーが設置されている。園舎は内装は全て木製仕様であり、保育室や遊戯室（ホール）の床・壁・家具・廊下などは全て木張りで、良く清掃され、園児たちがどこで寝転んで遊んでいても違和感がなく環境は良好であった。

園庭は「こどもの森」をイメージした設計で、園庭の周囲には大型総合遊具、クライミングキリン（キリン型滑り台）、ジャングルジム、砂場を配置し更には築山、敷石を並べた小道、ところどころに年月を経れば大木となる樹木が植栽されている。園庭の中心部はコンクリート舗装が幅広く湾曲して敷かれていて、子どもたちが三輪車やキックボードで快適な滑りを楽しむことができる。築山には洞窟もあり子どもたちの隠れ場所、秘密基地にもなっている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年7月19日（契約日）～ 令和6年12月26日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	民間移管後今回が初回

⑥総評

◇特に評価の高い点

●乳児（未満児）クラス保育の特徴

0歳児「つくし組」8人、1歳児「タンポポ組」18人、2歳児「すみれ組」19人の3クラスでは、各クラスとも4人の保育士が、食事や排せつ、着脱、睡眠などの育

児を丁寧に見守る「ゆるやかな育児担当制」がとられている。「ゆるやかな担当制」により、「基本的な生活習慣を身につける」という乳児期の課題を達成するため、より清潔で安定した家庭的な環境の中で、きめ細やかな保育ができるようにしている。

子どもの成長は早く、3月31日生まれと、4月1日生まれでは発育に1年の差があり、0歳児でも1歳児に近い発育の子ども、2歳児でも時には1歳児に近い発育の子どもがいる。このことから、おもちゃもクラス年齢で与えるのではなく、一人ひとりの子どもの発育に合わせて配慮され、子どもたちは、自由に各クラスの保育室に行き来することができる。

●幼児（以上児）クラス保育の特徴

3歳児「うさぎ組」15人、4歳児「ぱんだ組」21人、5歳児「きりん組」19人の3組編成を本年4月から「そら組」15人、「だいち組」15人の2クラス編成、マルチエイジクラスとなった。年齢差の子ども達が一つのクラスになることによって、「いろいろな子がいるな」、「みんなちがうんだ」という意識を育て、個人間、仲間間、グループ間の多彩な人間関係が、「対等」、「従う」、「上に立つ」という役割を経験しやすくしている。

マルチエイジのクラスは、同じ人数構成のクラスが2つできることになり、そこには新しいタイプのクラス間の交流（運動会でのクラス対抗競技等）が生まれている。また、時期を同じくして2タイプの保育実践がなされるということで、担任の保育士には環境構成や保育計画のあり方を考える機会が多くなり、保育内容の充実に繋げている。

給食も全員一斉ではない。11時35分から12時30分頃の範囲で、家で朝食の早かった子ども、遊びに区切りのついた子どもから、トレーに並べた料理を、一人一人が自分の好きなテーブルまで自分で運び食事をしている。

●豊富な遊具

どの保育室もおもちゃが豊富に用意されている。園では特に「積み木保育」に力を入れている。「積み木保育」により、0歳から年長児に至るすべての子どもの、手先の器用さや集中力、空間認知能力、更には想像力を伸ばし、友達との協調性も養われている。

各保育室は広く、滑り台、ままごと遊び、お絵かき、積み木ブロック、らきゅう、絵本などのコーナーが設けられ、子どもたちは飽きるまで好きな遊びをすることができる。

●マニュアルの整備

外部対応マニュアルが優れている

対応マニュアルは「電話対応について」「保護者対応」「実習生について」「地域との関り」「消防・警察」に区分され対応の仕方について記述されている。

特に「実習生について」は、①実習生受け入れの意義・考え方。②実習生受け入れ担当者。③受け入れ手順等、受け入れから実習終了後に「評価票」の作成し、実習生の所属する学校へ郵送するまで、こと細かく記述されている。

●地域交流

地域のJAの協力を得て、又ル又ルを足裏に感じる田植え、飛び交う沢山の虫たちを見ながらの稲刈り、脱穀、餅つきと、子どもたちが育てたものが調理され、自分たちの

口に入るまでの一連の流れを体験している。また、サツマイモ・ジャガイモの苗植え・芋掘りも体験している。

地域のまちづくり協議会が開催する、夏祭りや、文化祭に参加し遊戯を披露したり、作品展示を行っている。

小学校との関りを積極的に持つために小学校の午前の20分休みに子どもたちは遊びに行っている。

近隣の老人ホームの利用者を運動会、発表会などに招待している。

●食育

プランタを利用し、幼児テラスで、ピーマン、プチトマト、ナスを栽培している。夏野菜は毎日食べごろ順々に成育していくので、その都度細かくホットプレートなどを使って簡単なクッキングをしたり、夏野菜カレー、夏野菜バーベキューなどを楽しんでいる。

収穫したサツマイモを天日干してから、付いている泥を水で洗い流し、もう一度干し、12月には園庭で落ち葉や小枝を集めて焚火をし焼き芋を楽しんでいる。

●開放的な厨房

玄関入るとすぐ左手に厨房がある。厨房の窓ガラスは大きく、調理師さんが給食の準備をしているのが良く見える。調理師さんは全員、白衣、長いコック帽子の正装で働いている。保育園の調理師さんが、コック帽子を着用している例はあまり見かけない。子どもたちも毎日その姿を見て登園している。

●カンガルー出勤

小学校が夏休みや、振り替え休日等で休校している時にも保育園は開園している。そのような事情のある職員が、低学年の自分のお子さんと一緒に出勤して、子どもたちと一緒に過ごしたり、子ども同士で宿題をしたりする”カンガルー出勤が”導入されている。

●利用者の満足度調査

今回の調査に際し、当調査センターは保護者全員に対し、38項目について満足度のアンケート調査を実施した。アンケートの回収率は48.2%で、やや低かったが、総合満足度は95%と良好であった。

年長児の4人の子どもにインタビューを行った。遊びのこと、給食のこと、手洗いのこと等いろいろな質問に反応が早く、みんな元気に応答できた。大きくなったら何になりたいか尋ねたところ、夢は花屋さん、野球選手、お巡りさん、仮面ライダーと元気に答えてくれた。

◇改善を求められる点

●理念・基本方針の周知度を高めるためにも、玄関正面の壁面に理念・基本方針・保育目標などを大きく掲示するなどの対応が期待される。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を受けて、自園の持つ特徴や課題について客観的に知ることが出来、職員一同大変勉強になりました。

改善点として挙げただいた理念の共有に関しては、保育園の考え方や価値観について、保護者の方々に理解していただく原点といえます。園の実践・環境の意味・思い・願いを共有し、子どもたちの育ちを共に支えていく関係性を築くためにも、指摘いただいた点は直ちに改善していきたいと思えます。

また評価いただいた点に関しては率直に大変うれしく、感謝申し上げます。園として特に心がけて取り組んでいることは、

○子どもたちのより良い育ちを、職員皆で探求していくこと。

○園で働く職員の皆が納得して、のびのびと働くことが出来るよう配慮すること

○保護者の皆様が安心して園にお子様を預けられること。

一つ一つは当たり前ですが、これらすべてを子どもをまんなかにおいて考えることです。

今回の結果を受け、情報公開や、より積極的な子どもたちの育ち・学びへのアプローチを進めていきたいと考えています

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。